令和7年度 高等部 3年（訪問Ⅱ課程C） 国語 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
45	訪問Ⅱ課程C類型 (3年1名)		絵本・電子絵本・パネルシアター 等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)日常生活に必要なあいさつなどの身近な言葉に慣れるとともに、絵本などをとおしていろいろな言葉に触れることができるようにする。(小国語1段階) (思判表力)言葉による関わり、触れられることによる関わりを受け止めたりする力を養い日常生活における人との関わりの中で、自分の思いを持ち、伝えることができるようにする。(小国語1段階) (学・人)言葉で表される音の良さを心地よく思えるとともに、それに対して応じようとする態度を養う。(小国語1段階)			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 3 学期	20	「先生とお話」 身近な人の話しかけに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じること (年間を通して行う)	(知及技)先生の話しかけに気づくことができる。 (思判表力)話しかけられたことに対して表情や手足の動きで答えることができる。 (学・人)話しかけられることで覚醒することができる。	「今日のできごと・天気・方向を表す言葉ほか」 ○学校のお話、天気の確認、左右上下などボディイメージにつながる語	(知・技)先生の話しかけに気づくことができる。 (思・判・表)話しかけられたことに気づいて表情や手足の動きなどの反応をする。 (主学)話しかけられて覚醒し授業に参加できる。
	25	「季節の言葉・物語」 言葉のもつ音やリズムに触れたり、昔話など読み聞かせを聞くなどして親しむこと (年間を通して行う)	(知及技)絵本や動画に気づき興味を持てるようにする。 (思判表力)絵本や動画に視線を向けたり読み聞かせの音に表情や手足の動きで反応することができる。 (学・人)読み聞かせの声や動画の音を聞くと覚醒できる。	「はなびドーン」 「ねこのピート だいすきなしろいくつ」ほか ○同じ音や言い回しが楽しい本を読み聞かせしたり電子絵本などで見るなどする	(知・技)絵本や動画に顔や視線を向けて見ることができる。 (思・判・表)読み聞かせの声や動画の音に表情や手足の動きで気づいたことを表現できる。 (主学)声や音を聞くことで覚醒が促されて授業に参加できる。
留意点 引継ぎ等		生徒の体調などに応じて、柔軟に教材選択をしながら授業を行う。			

令和7年度 高等部 3年（訪問Ⅱ課程C） 数学 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
15	訪問Ⅱ課程C類型 (3年1名)		お天気カード・うちわ・傘・ライト・ スイッチ教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)身の回りのものに気づき、受け入れることができる。(小算数1段階A) (思判表力)身の回りにあるものに注意を向け、ある・なしについて関心をもって関わる力を養う。(小算数1段階A) (学・人)身の回りにあるものに気づき、その存在に関心をもって取り組もうとする態度を養う。(小算数1段階A)
------	---

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 5 3 学期	15	「なにがあるかな？」 ある・ないを見つけよう 年間を通して扱う	(知及技)先生が提示する光や風や物に対して、注意を向けようとしている。 (思判表力)先生が提示する光や風や物に対して繰り返し応じることができる。 (学・人)身の回りにあるものに気づくこと、先生と関わることに反応が見られる。	「ある・ないに気づく」 ○光の点滅を見る・追う (お天気カード) ○揺れる・回るなど動くものを注視する (うちわ・傘) ○聞こえる音に耳をかたむける(スイッチ教材)	(知・技)先生が提示するものに対して、表情や体の一部を動かして反応することができる。 (思・判・表)先生が提示するものに対して、繰り返し反応することができる。 また、光が消えた時や風が止まった時に反応が現れる。 (主学)身の回りのものに表情や体の一部を動かして応じることができる。また先生が何かを提示することに対して期待や緊張を示す。

留意点 引継ぎ等	生徒の体調などに応じて、柔軟に教材選択をしながら授業を行う。				
-------------	--------------------------------	--	--	--	--

令和7年度 高等部 3年（訪問Ⅱ課程C） 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
25	訪問Ⅱ課程C類型 (3年1名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)音や音楽に注意を向けて気付き、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽作りにつながる技能を身に付ける。(小1段階) (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に関心や興味をもって聴くことができる。(小1段階) (学・人)教師と一緒に音楽活動する楽しさを感じることができる。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 5 3 学期	15	身近な音、音楽や季節、行事の歌に親しもう (年間を通して扱う)	(知及技) 音や音楽に気付き、自分なりに表そうとする。 (思判表力) 音楽表現を楽しみ、音や音楽に興味関心をもつ。 (学・人) 音楽活動を教師と一緒に楽しむ。	○授業開始の音や合図、始まり、終わりの歌など ○季節に関する曲 「はるがきた」「うみ」 「やきいもぐーちーぱー」「もちつき」 他 ○行事の歌など	(知・技) 音や音楽に気付き、自分なりに表そうとしている。 (思・判・表) 音楽表現を楽しみ、音や音楽に興味関心をもっている。 (主学) 音楽活動を教師と一緒に楽しむことができる。
	10	色々な楽器の音色を聴こう 触ってみよう (年間を通して扱う)	(知及技) 身近な人の演奏に触れ好きな音色や楽器の音を見付ける。 (思判表力) 演奏を見たり、体の動きで表現しながら聴く。 (学・人) 音楽活動を教師と一緒に楽しむ。	○持ち運びのできる小物楽器など ○楽器の絵本などを通して、音色を聴く、楽器に触れる	(知・技) 好きな音色や楽器の音を見付け、自分なりに表そうとしている。 (思・判・表) 演奏を見たり、体の動きで表現しながら聴いている。 (主学) 音楽活動を教師と一緒に楽しむことができる。
留意点 引継ぎ等		生徒の体調などに応じて、柔軟に教材選択をしながら授業を行う。			

令和7年度 高等部 3年（訪問Ⅱ課程C） 美術 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
20	訪問Ⅱ課程C類型 (3年1名)		色紙・布・絵の具・毛糸・葉・石等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)いろいろな素材の形・線・色・触った感じなどに気づくことができる。(小図工1段階 共通事項ア) (思判表力)いろいろな素材に触れながら、表したいことを思いついたり、作品を見たりできるようにする。(小図工1段階Aア〔ア〕〔イ〕) (学・人)すすんで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色に関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。(小図工1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 ～ 3 学期	20	「いろいろな色と感触を楽しもう」 年間を通して扱う	(知及技)手など体の一部に何かが触れる体験をする (思判表力)手など体の一部に何かが触れたことに気付いて、手や目や口や首などを動かして表現することができる。 (学・人)いろいろな素材に触れることに慣れ、触れることに期待することができる。	○身の回りの自然物などに触れる(色紙・布・絵の具・毛糸・葉・石等)	(知・技)素材に触れることを受け入れて驚いたりせずリラックスしている。 (思・判・表)手や体の一部に何かが触れたことで覚醒が促されたり、動かせる体の部分で応じることができる。 (主学)素材に触れることを繰り返しても驚いたり不快な様子がない。また、素材を見たり音を聞くことで反応が見られる。

留意点 引継ぎ等	生徒の体調などに応じて、柔軟に教材選択をしながら授業を行う。
-------------	--------------------------------

令和7年度 高等部 3年（訪問Ⅱ課程C） 道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
4	訪問Ⅱ課程C類型 (3年1名)				
年間目標					
○人と関わる心地よさを感じ取り、人と関わろうとする意欲をもつ。					
学 期	時 数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 ～ 3 学期	4	節度・節制	・基本的な生活習慣・生活のリズムを身につけ、学習の時間を楽しみにすることができる。	はじめ・おわりのあいさつ 覚醒すること	・教師のはじめ・おわりのあいさつを聞いて、表情や体の動きで反応しようとしている。
		友情・信頼	・身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感を持って過ごすことができる。	制作活動・ふれあい 体操など教師と関わる こと	・教師との関わりを受け入れ、リラックスした状態で活動に参加している。
		よりよい学校生活、集団生活の充実	・友達存在に気づき、興味や関心を持つことができる。	リモートで学部の教室とつないで友達と関わる こと	・友達の声を受けて身体を動き、表情等で反応しようとしている。
		感動、畏敬の念	・さまざまなものを見たり、感じたりして心を動かすことができる。	身近な動植物を見たり 香りを嗅いだり触れたり すること	・身近な動植物に触れ、その感触や匂い等に対して身体を動き、表情等で反応しようとしている。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部 3年（訪問Ⅱ課程C） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
6	訪問Ⅱ課程C類型 (3年1名)		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・基本的な生活習慣、学校生活の決まり、社会生活におけるルールを理解し、参加することができる。 (思判表力) ・様々な集団活動において、教師や友人と関わることができる。 (学・人) ・教師や友人との関わりや行事の参加を通して集団での活動を心地よく感じ、よりよい人間関係を築こうとしたりすることができる。 ※動画視聴・リモート参加・スクーリングで参加			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	単元・題材の評価規準
1 ～ 3 学期	6	学部開き	・教師や友達と一緒に高等部の仲間と親睦を深めることができる。	・各グループの紹介 ・新しい先生の紹介 ・ゲーム	・教師と一緒に自己紹介で発声、表情やスイッチ操作による音声出力に参加しようとしている。
		児童生徒総会 創立記念日集会	・生徒会役員の話の聞いたり、教師や友達と交流したりして、児童生徒会活動へ参加できる。 ・学校のあゆみについての話を聞き、創立記念日を祝うことができる。	・児童生徒総会への参加 ・創立記念日集会への参加	・生徒会役員の話の聞いたり、教師や友達と交流したりして、児童生徒会活動へ参加しようとしている。 ・創立記念日集会に参加し、話を聞こうとしている。
		平和月間について	・戦争の様子について知り、平和の大切さ、今生きていることの喜びについて知る。	・戦争に関する本や紙芝居の読み聞かせや動画鑑賞	・本や紙芝居の読み聞かせ、動画鑑賞に参加しようとしている。
		読書月間について	・読み聞かせなどを通して、本に興味を持つことができる。	・本や紙芝居の読み聞かせ	・読み聞かせなどを通して、本に興味を示そうとしている。
		那覇特祭に向けて	・自分の役割を知り、教師や友達と一緒に練習に参加することができる。	・期日や場所を知る ・発表内容を教師と一緒に決め、練習する ・本番での発表 ・発表動画での振り返り	・教師と一緒に発表に参加しようとしている。 ・保護者の前で発表しようとしている。
		3年生を送る会	・卒業する3年生の門出を教師や友達と一緒に祝うことができる。 ・後輩や教師に感謝の気持ちを伝えることができる。	・3年生のあいさつ ・先輩への贈る言葉 ・レク	・教師と一緒に自己紹介で発声、表情やスイッチ操作による音声出力に参加しようとしている。 ・学校生活の終わりが分かり、いろいろな方法で発出しようとしている。
		1年を振り返って	・1年間を振り返り、自分の成長や進級や卒業することを知ることができる。	・スライドショーによる授業、行事の振り返り	・写真や動画を鑑賞し、取り組んできたことや楽しかったことなどを、教師と一緒に自分なりの方法で表現しようとしている。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部 訪問ⅡC時間割

	月	火	水	木	金
1	A自立活動 9:00~ 10:00	A自立活動 9:00~ 10:50	A自立活動 9:00~ 10:00	A生単 9:00~ 10:50	A自立活動 9:00~ 10:00
2					
3					
4					
5					
6					